

腹腔鏡下膵体尾部切除術における術前難度評価スコア (difficulty score) の有用性に対する 検証研究

1、研究の対象：

2017年1月1日から2018年12月31日までに、良性疾患に対する標準的腹腔鏡下膵体尾部切除術と腹腔鏡下脾血管温存膵体尾部切除術、膵癌に対する腹腔鏡下根治的順行式尾側膵切除術を行った患者

2、研究目的・方法：

腹腔鏡下膵体尾部切除術の難度には、種々の因子が影響する。手術難度を予測するための術前難度評価スコア (difficulty score; DS) システムの有用性を検証することを目的とする。

研究期間：承認日～2023. 3. 31

3、研究に用いる試料・情報の種類：

患者情報、手術情報、手術難易度など

4、研究に関する利益相反について： なし

5、外部への試料・情報の提供：

データセンターには個人情報の開示しない形で提出

6、研究組織：日本肝胆膵外科学会

研究責任者 九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科学 中村雅史

7、お問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 _

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 _

兵庫県明石市北王子町 13-70 TEL : 078-929-1151

兵庫県立がんセンター 消化器外科：田中基文